

平成24年行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	国際平和協力のための人材育成経費		担当部署	国際平和協力本部事務局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	事業開始：平成17年度		担当課室	国際平和協力本部事務局		荒木 潤一郎		
会計区分	一般会計		施策名	79. 国際平和協力業務等の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	内閣府設置法第4条第3項第52号		関係する計画、通知等	国際平和協力懇談会(座長：明石康、平成14年12月)提言				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際平和協力研究員(以下「研究員」という。)を能動的・主体的な調査・研究活動や国際平和協力本部事務局(以下「事務局」という。)の業務に従事させることにより、国際平和協力分野の現場で活躍する文民を育成するとともに、研究員の知見等を最大限活用して事務局の機能強化を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	既に国際平和協力の現場で活動し、同分野における知見を有する者を対象として、公募を実施し、書類審査や外部有識者による面接審査により選考を行った上で、最長2年間の任期の国際平和協力研究員(非常勤国家公務員)として採用。国際平和協力分野に関する能動的・主体的な研究活動のほか、国際平和協力隊員の派遣前研修の講師、広報活動等の事務局業務に従事させることにより、総合的な能力向上・人材育成を推進すると同時に、事務局機能の強化を図っている。							
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他	
予算額・執行額 (単位：百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	45	44	43	44		
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	7	0	0		
		計	45	37	43	44		
	執行額	34	33	24				
執行率(%)	75.6%	89.2%	55.8%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	調査・研究の成果を、シンポジウム、政府機関、大学院等における講演、論文発表を通じて発信する。それを実績とし、国連等の国際機関への就職及び、世界への貢献とする。		成果実績	人	3	2	4	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	平成23年度は、講演やシンポジウムでの研究発表を中心とした研究員の能力向上に加え、事務局機能強化の観点から、我が国の国際平和協力隊員の派遣前研修や海外PKO訓練センターでの講師としての指導、さらには、専門分野での情報発信を通じた広報活動など、高度な専門的知見を活用して業務を実施した。		活動実績 (当初見込み)	人	9	8 (8)	7 (8)	(8)
単位当たりコスト	3,429,000(円 / 23年度従事人数)		算出根拠	X(執行額) / Y(人数) 平成23年度は、月別最大で計7人が国際平和協力事務局で業務に従事した。				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	人件費	38	37					
	諸謝金	0.1	0.1					
	旅費	4	4					
	庁費	2	2					
	計	44	44					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	有識者からなる国際平和協力懇談会の提言を踏まえ実施している。 年によって不用率が大きいのは、選考の結果により研究員の採用人数が予定を下回ったためである。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	研究員は公募しているが、選考に当たっては、国際平和協力で深い知見を持つ外部有識者にも審査に参加してもらい、多角的な視点から適切な人材を採用している。
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	将来的に国際平和協力分野で活躍できる人材の育成を目的としており、研究員は退職後約半数が国際連合や国際機関に就職し、それ以外の者も国際平和協力分野のさまざまな組織で幅広く活躍している。 研究員は研究成果を国際平和協力シンポジウムで発表するとともに、事務局ホームページに各自の専門分野に関する記事を掲載するなど、積極的に情報発信を行っている。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		類似事業名とその所管部局・府省名	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>・本業務の支出先については、決裁書、請求書等関係書類に照らし合わせ精査のうえ支出しており、支出状況及び用途いずれにおいても把握している。</p> <p>・我が国が、国際平和協力分野での人材育成を通じて国際平和に寄与するため、引き続き適切に実施していく必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き、元国際平和協力研究員との連携強化・連絡体制の維持を行い、人材育成事業の効果や政策等への反映状況について評価・検証を行うべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	引き続き効率的な執行に努める。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
内閣府国際平和協力本部HP http://www.pko.go.jp/PKO_J/organization/researcher/researcher02.html			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	156	平成23年行政事業レビュー	0163

内閣府国際平和協力本部
24百万円

国際平和協力分野の調査・研究活動及び事務局業務支援

【個人】	A.個人 2.2百万円	（ 研究員（8名）に係る非常勤職員手当 ）
【個人】	B.個人 0.3百万円	（ 研究員の国内外研修への参加に係る旅費 ）
【個人】	C.個人（立て替え） 0.1百万円	（ 研究員の国外研修受講費用 ）
【随意契約】 （少額）	D.（株）国際開発ジャーナル 0.6百万円	（ 研究員の募集に関する情報の掲載に係る費用 ）
【随意契約】 （少額）	E.（株）ニッケイ印刷 ほか 1百万円	（ 国際平和協力シンポジウム開催に係る費用 ）
【随意契約】 （少額）	F.（株）国際開発ジャーナル 0.1百万円	（ 国際協力キャリアフェア2011への出展 ）

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について記載する。費
 目と使途の双方で実情が分かる
 ように記載)

A.個人			E.(株).ニッケイ印刷 ほか		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究員(のべ9名)給与	22	印刷費	報告書の印刷	0.4
			借料	会場借料	0.3
			役務費	テープ起し	0.1
			会議費	飲料等	0.07
			役務費	音響システム運用費	0.04
			役務費	看板製作	0.04
			役務費	清掃及び警備	0.02
計		22	計		1
B.個人			F..(株)国際開発ジャーナル		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	研究員の外国旅費	0.3	出展料	国際協力キャリアフェア2011	0.1
旅費	研究員の国内旅費	0.1			
計		0.3	計		0.1
C.個人			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
受講料	ジェンダー・フィールド・アドバイザー 課程	0.1			
計		0.1	計		0
D.(株)国際開発ジャーナル			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
掲載料	国際開発ジャーナル掲載料	0.6			
計		0.6	計		0

支出先上位10者リスト

A.個人

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	PKO事務局での調査、研究、講演等業務への従事	5		
2	個人B	PKO事務局での調査、研究、講演等業務への従事	4		
3	個人C	PKO事務局での調査、研究、講演等業務への従事	4		
4	個人D	PKO事務局での調査、研究、講演等業務への従事	2		
5	個人E	PKO事務局での調査、研究、講演等業務への従事	2		
6	個人F	PKO事務局での調査、研究、講演等業務への従事	2		
7	個人G	PKO事務局での調査、研究、講演等業務への従事	1		
8	個人H	PKO事務局での調査、研究、講演等業務への従事	1		
9	個人I	PKO事務局での調査、研究、講演等業務への従事	1		

B.個人

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	「ジェンダー・フィールド・アドバイザー課程」参加	0.3		
2	個人B	国際平和協力本部研修オブザーバー参加及び国際国防セミナー聴講	0.03		
3	個人C	国際平和協力本部研修オブザーバー参加	0.03		

C.個人

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	「ジェンダー・フィールド・アドバイザー課程」参加	0.1		

D.(株)国際開発ジャーナル社

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)国際開発ジャーナル社	国際平和協力研究員 募集広告掲載	0.6	随意契約	

E.(株)ニッケイ印刷 ほか

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ニッケイ印刷	報告書の印刷	0.4	随意契約	
2	国際連合大学本部	会場借料	0.3	随意契約	
3	扶桑速記印刷(株)	テープ起し	0.1	随意契約	
4	(株)動夢	飲料等	0.07	随意契約	
5	(株)放送サービスセンター	音響システム運用費	0.04	随意契約	
6	(株)レインボウ	看板製作	0.04	随意契約	
7	三幸(株)	清掃及び警備	0.02	随意契約	

F.(株)国際開発ジャーナル社

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)国際開発ジャーナル社	国際協力キャリアフェア20101出展	0.1	随意契約	